

氏名 日本 太郎 性別 男性 生年月日 昭和64年01月01日 89 歳 要介護度 要介護5

健康状態(原因疾患,発症・受傷日等) 高血圧症 慢性腎不全 変形性膝関節炎 喘息 肛門掻痒症 帯状疱疹帯状疱疹帯状疱疹帯状疱疹帯状疱疹	合併疾患・コントロール状態 (高血圧症,心疾患,呼吸器疾患,糖尿病等) 食後に胃薬常用(薬名は不明、聞き取り確認が必要) 呼吸器疾患 生活不活発病(廃用症候群) 発生原因がわかる場合はその内容 筋力低下 廃用症候群	心身機能 <input checked="" type="checkbox"/> 運動器機能障害: 今日の日付で保存します。よいで <input checked="" type="checkbox"/> 感覚機能障害: 無し <input checked="" type="checkbox"/> 高次脳機能障害: 無し <input checked="" type="checkbox"/> 拘縮(部位): 無し <input checked="" type="checkbox"/> 関節痛(部位): 無し <input checked="" type="checkbox"/> その他: 無し 今日の日付で保存します。よいで 認知症評価 HDS-R 10 点
参加 主目標 (コロンの後に具体的内容を記入。) 入院・入所中の場合の退院先 <input checked="" type="checkbox"/> 自宅 <input checked="" type="checkbox"/> その他:老人健康施設あさがお <input checked="" type="checkbox"/> 退院未定 家庭内役割(家事への参加、等):掃除、選択、炊事、室内清掃、ごみだし、消灯など等 社会活動: 近所の清掃、交通整理、フラダンスクラブ、お花の鑑賞と写真撮影 外出(内容・頻度等): 映画鑑賞に月3回、温泉旅行、ゲートボール、買い物 余暇活動(内容・頻度等): 近所の散歩、まごの世話 退院後利用資源: 歩行器、杖、補聴器、メガネ、小型のテレビ		

項目	自立・介護 状況	現在の評価及び目標							具体的なアプローチ				
		自立	見守り	一部介助	全介助	行わず	使用器具 杖・装具・歩 行器・車椅子 など	介護内容 つたい・もたれ等	到達 時期	重点 項目	PT・OT・STが 実施する 内容・頻度等	看護・介護職 等が実施する 内容・頻度等	実施上の留意点
日常生活	トイレへの移動	AB C	AB C	AB C	AB C	AB C	使用器具 歩行器	介護 もたれ	99ヵ月		週2回実施 ホットバック20分		三度の食事が可能
	階段昇降	AB C	AB C	AB C	AB C	AB C	使用器具 歩行器	介護 もたれ	99ヵ月				
	屋内移動	AB C	AB C	AB C	AB C	AB C	使用器具 歩行器	介護 もたれ	999月				
	屋外移動	AB C	AB C	AB C	AB C	AB C	使用器具 歩行器	介護 もたれ	7ヵ月				
社会活動	食事	AB C	AB C	AB C	AB C	AB C	使用器具 歩行器	介護 もたれ	1月		実際の入浴時に動作 訓練	簡単な化粧ができる	
	排泄(昼)	AB C	AB C	AB C	AB C	AB C	使用器具 歩行器	介護 もたれ	2月				
	排泄(夜)	AB C	AB C	AB C	AB C	AB C	使用器具 歩行器	介護 もたれ	3月				
	整容	AB C	AB C	AB C	AB C	AB C	使用器具 歩行器	介護 もたれ	4月				
	更衣	AB C	AB C	AB C	AB C	AB C	使用器具 歩行器	介護 もたれ	5月				
	入浴	AB C	AB C	AB C	AB C	AB C	使用器具 歩行器	介護 もたれ	6月				
	コミュニケーション	AB C	AB C	AB C	AB C	AB C	使用器具 歩行器	介護 もたれ	7ヵ月				
	家事	AB C	AB C	AB C	AB C	AB C	使用器具 歩行器	介護 もたれ	8ヵ月				
外出	AB C	AB C	AB C	AB C	AB C	使用器具 歩行器	介護 もたれ	10ヵ月					

項目	自立・介護 状況	現在の評価及び目標							具体的なアプローチ				
		自立	見守り	一部介助	全介助	行わず	使用器具 杖・装具・歩 行器・車椅子 など	介護内容 つたい・もたれ等	到達 時期	重点 項目	PT・OT・STが 実施する 内容・頻度等	看護・介護職 等が実施する 内容・頻度等	実施上の留意点
基本動作他	寝返り	AB C	AB C	AB C	AB C	AB C	使用器具 椅子	介護 もたれ	1月		週2回実施 ホットバック20分 実際の入浴時に動作 訓練	週2回実施 ホットバック20分	週2回実施 ホットバック20分
	起き上がり	AB C	AB C	AB C	AB C	AB C	使用器具 椅子	介護 もたれ	2月				
	座位	AB C	AB C	AB C	AB C	AB C	使用器具 椅子	介護 もたれ	3月				
	立ち上がり	AB C	AB C	AB C	AB C	AB C	使用器具 椅子	介護 もたれ	4月				
	立位	AB C	AB C	AB C	AB C	AB C	使用器具 椅子	介護 もたれ	5月				
	移乗動作	AB C	AB C	AB C	AB C	AB C	使用器具 椅子	介護 もたれ	6月				
	歩行	AB C	AB C	AB C	AB C	AB C	使用器具 椅子	介護 もたれ	7月				
摂食・嚥下	AB C	AB C	AB C	AB C	AB C	使用器具 椅子	介護 もたれ	8月					

「現在の評価及び目標」における記入例: A 目標 B 実行 C 能力

本人の希望

電場と磁場の周期的変化が波動となって伝わるのが電磁波。周波数の低いものを電磁波と言い、周波数の高いものを放射線という。

ご家族の希望

電場と磁場の周期的変化が波動となって伝わるのが電磁波。周波数の低いものを電磁波と言い、周波数の高いものを放射線という。

生活目標

その人らしく生活するポイント

電場と磁場の周期的変化が波動となって伝わるのが電磁波。周波数の低いものを電磁波と言い、周波数の高いものを放射線という。

リハビリテーション計画

本人の状態およびリハビリテーションの目標

電場と磁場の周期的変化が波動となって伝わるのが電磁波。周波数の低いものを電磁波と言い、周波数の高いものを放射線という。

ご本人に行ってもらいたいこと

電場と磁場の周期的変化が波動となって伝わるのが電磁波。周波数の低いものを電磁波と言い、周波数の高いものを放射線という。

ご家族にお願いしたいこと

電場と磁場の周期的変化が波動となって伝わるのが電磁波。周波数の低いものを電磁波と言い、周波数の高いものを放射線という。

病気との関係で気をつけること

電場と磁場の周期的変化が波動となって伝わるのが電磁波。周波数の低いものを電磁波と言い、周波数の高いものを放射線という。

前回計画書作成時からの変化点

電場と磁場の周期的変化が波動となって伝わるのが電磁波。周波数の低いものを電磁波と言い、周波数の高いものを放射線という。

備考

電場と磁場の周期的変化が波動となって伝わるのが電磁波。周波数の低いものを電磁波と言い、周波数の高いものを放射線という。

担当医チーム

担当医： 東京 太郎

PT・OT・ST：大阪 一郎 大阪 一郎 大阪 一郎 大阪 一郎

看護・介護： 福岡 美子 福岡 美子 福岡 美子 福岡 美子

その他： 沖縄 健太 沖縄 健太 沖縄 健太 沖縄 健太

ご本人・ご家族への説明と同意： 年 月 日

ご本人・ご家族サイン：

説明者サイン：